

■源義家(八幡太郎)
みなもとのよしえ
・・・・・・1039 =

武将。後三年合戦鎮圧も恩賞なく私財提供で武士の鑑とされ、のちようやく武家として初の院昇殿。

上野介平直方の娘を母に、_源頼義の長男に生まれる。

_石清水八幡宮で元服し"八幡太郎"と号した。

・・・・・・1048 = 9歳：

前九年の役始1051 = 12歳：
末法思想始・1052 = 13歳：

・・・・・・1054 = 15歳：_前九年の役に父に従って参戦，

・・・・・・1056 = 17歳：_父が窮地に陥った際，奮闘して脱した。

・・・・・・1057 = 18歳：

前九年合戦終1062 = 23歳：*前九年の役を平定，
鶴岡八幡宮始1063 = 24歳：_勲功により，従五位下出羽守となり，

やがて下野守に転任し，以後，諸国の守護職を歴任する。

・・・・・・1066 = 27歳：

後三条天皇・1068 = 29歳：

延久陸奥合戦1070 = 31歳：_陸奥で藤原基通を追捕。

その後，_京に戻り，主家藤原摂関家の警衛や京中の治安維持の任に当たった。

このころ"武勇の輩"といえはほとんど源氏，とくに義家一党を指すほどに源氏の武力は成長していた。在京中義家は大江山房に兵法を学んだという。

・・・・・・1075 = 36歳：

・・・・・・1079 = 40歳：_勅命により，源重宗を追討。

・・・・・・1081 = 42歳：_検非違使と協力して園城寺僧徒を捕縛。石清水社行幸を警護。

後三年の役始1083 = 44歳：_陸奥守兼鎮守府將軍として赴任。任国に起こった清原氏の内紛を，

・・・・・・1084 = 45歳：

院政始・・・・1086 = 47歳：

奥州藤原氏始1087 = 48歳：*私兵をもって鎮定した(後三年の役)。

・・・・・・1088 = 49歳：_乱後，朝廷はこの争乱を私闘と断じて恩賞を行わず，かえって陸奥守を解任されたため，私財を投じて部下に褒美を与え，人望が高まって東国武士との間の主従結合が強化され，"天下第一武勇之士"と評されるに至った。義家の名声を頼って諸国の在地有力者がその田畠を義家に寄進したため，

・・・・・・1091 = 52歳：_弟源義綱と合戦に及ぼうとしたが，朝廷に禁止され，

・・・・・・1092 = 53歳：_ついに莊園の停止を命じられた。

・・・・・・1093 = 54歳：

武家院昇殿始1098 = 59歳：*ようやく陸奥守時代の功過が定められ，正四位下に叙されて，院(白河)の昇殿を許されたが，

・・・・・・1102 = 63歳：_子源義親の配流事件など，

義家延暦掣肘1104 = 65歳：勅命により，延暦寺悪僧を逮捕。

・・・・・・1106 = 67歳：_苦しい立場の中で没した。